

## ●今月の特集のテーマは・・・

### 「〇〇はじめ」

新年あけましておめでとうございます！

心機一転、初めてにぴったりの入門書や基本書、気軽に読み始めやすい短編集を集めています。



#### 『1本の木から始める水彩スケッチ』

久山 一枝/著 日貿出版社(一般) 724.4/ク

スケッチに使う用具から色塗り、勉強法まで20のレッスンに分けて水彩スケッチの手順とテクニックを解説。新しい趣味の一つとして絵筆を握ってみるのはいかがでしょうか。



### 「干支に選ばれし動物たち」

中国文化の影響を受けたアジアや東欧の国々で使われる干支。

国によって動物がびみょうに違うのをご存知ですか？

「うさぎ」ではなく「ねこ」だったり、「いのしし」ではなく「ブタ」だったり。「とり」ではなく「ガルダ」！？

※「ガルダ」については『かしこいウサギとはずかしがりやの大きな鳥』バスカル・マレ/文、

デルフィーヌ・ジャコ/絵、平岡 敦/訳 徳間書店(下関市立中央図書館 所蔵)をご覧ください。



#### 『十二支えほん』

谷山 彩子/さく あすなる書房  
(児童) 382/タ



「十二支って、動物の競争のお話じゃないんだ。」  
大昔、中国で農作物の成長記録のために作られ、  
年・日にち・時刻・歳・方角をあらわすことにも  
使われます。十二支の由来や意味を楽しく学ぶ  
絵本です。

## 菊川図書館だより

下関市立菊川図書館

〒750-0317 下関市菊川町下岡枝193-8

TEL : 083-287-0102 FAX : 083-287-0202 2026年1月発行

# 1月号

開館時間 9:30～18:30

### ★1月の図書館カレンダー

■ = 休館日

⑩日 = おはなしのじかん  
14:00～14:30

⑩③①日 = 雑誌リサイクル  
9:30～  
なくなり次第終了  
※ひとり3冊まで

23日 = 菊川読書の日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	⑩
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	③①

## おすすめの児童書 テーマ:馬

2026年は午年です。それにちなんで馬の本を紹介します。馬が登場したり、意外なところに“馬”が隠れていたり…？ぜひ探してみてください。



『馬場のぼるのおえかき教室』  
馬場 のぼる/作  
こぐま社 726/バ

『たびはみちづれ』  
五味 太郎/作  
クレヨンハウス E/ゴ/10



『ウマになれたら  
いいのにな』  
ソフィー・ブラッコール/さく  
山口 文生/やく  
評論社 E/ブ



### 『世界はきみが思うより』 寺地 はるな/著

PHP 研究所 (一般) F6/テ



とある理由から、人が作った料理を食べられなくなってしまった高校生の冬真。高校入学と同時に引っ越してきた同級生の時枝くんとひよんなことから仲良くなっていき…。世の中と自分とのズレに生きづらさを感じつつも、自分らしく生きていく前向きな物語。

### 『もっと深めるわな猟・網猟』 実践狩猟研究室/著

メイツ出版 (一般) 659/モ



わなと網を使った狩猟について基本から実践までのノウハウをまとめた1冊です。山に入る際の心構え、わなの仕組み、捕獲したあとの処理の仕方等のポイントや、ジビエ料理のレシピも掲載されています。

### 『はらぺこえびすのおしょうがつ』 はらぺこめがね/作

ほるぷ出版 (児童) E/ハ



大晦日、神さまの台所はおせち作りで大忙し。ところが準備していた鯛が無くなり……。大黒様は無事に鯛を釣って、宴をひらくことが出来るのか？楽しく、おいしい絵本で、良いお正月を。そして良い一年になりますように！

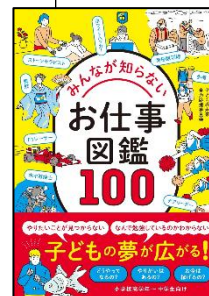
貸出中の場合は、予約をご利用ください。予約のお申込は、窓口や電話、図書館のホームページから出来ます。



### 『みんなが知らないお仕事図鑑 100』

子どもの未来全力応援委員会/編

内外出版社 (児童) 366/ミ



名前は知っているけど、何をするお仕事かわからない、そもそも名前も知らない…という仕事を100紹介。仕事内容から年収・勤務時間・その仕事に必要な資格も紹介するので将来の夢候補にいかがでしょうか。

### 菊川にまつわる“き・く・が・わ・あ・れ・こ・れ”

郷土資料『広報きくがわ縮刷版①』には、かつて発行されていた“広報きくがわ”の昭和30年の創刊号から昭和60年の第238号までが掲載されています。その中から今回は…。

### 《天高く あがれ あがれ 町民たこあげ大会》

今から48年前の1978年、昭和53年の2月1日号の表紙に町民たこあげ大会の様子が表紙になっています。1月15日成人の日に



菊川中学校グラウンドで行われ、参加者は約120名。近年ではすっかり正月の風物詩から消えた感のあるたこあげですが、懐かしく思い出される方も多いのではないのでしょうか。大空にいろいろなデザインの手作りたこが舞う様子は、今なら“映えスポット”になったかもしれませんね。

※『広報きくがわ縮刷版①』は菊川図書館で閲覧のみ可能です